

令和3年度京都市民健康づくり推進会議 食育推進部会（摘録）

開催日時：令和4年1月28日（金）午後1時30分～午後5時

開催場所：職員会館かもがわ 2階 大会議室（WEB併用）

1 構成団体及び出席者 （資料1，2）のとおり

2 開会のあいさつ

京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室長 北川 博巳

3 議事

（1）健康長寿のまち・京都食育推進プランの中間評価について（資料3，4）

事務局（健康長寿企画課）から資料に基づき説明。質疑応答は以下のとおり。

【質疑応答】

○京都市保育園連盟

高齢者（65歳以上の者）のBMI20以下の者が、2割以上である原因や背景等検証しているのか。

●事務局

現時点において、検証はできていない。今後、検証を行っていきたい。

○中央卸売市場第一市場

京の食文化を認知している者の割合は増えているのに、課題として食文化の普及啓発の必要性を挙げている理由は何か。

●事務局

京の食文化の継承については、継続的に取り組むべきことであるため、課題とした。

○京都府歯科医師会

調査項目には、歯の数があるが、調査方法はアンケートか口腔診査か？また、歯科健診の受診状況等はどうだったのか。先程のアンケート結果報告では、口腔に関する項目が省略されていた。食育を進めるには口腔の状況も重要であり、口腔に関する結果も踏まえる必要があると考える。

●事務局

市民の口腔の状況については、口腔保健部会（同日開催）にて報告させていただいた。詳細は、追って担当から情報提供させていただく。

○地球温暖化対策室

地産地消の推進に向け行動している市民の割合が減少している理由をどのように考察されているのか。

●事務局

現時点において、考察はできていない。今後、関係課・団体と連携し、考察を行っていく予定。

○京都市保育園連盟

食品ロスを実践している者の割合とは、どのように把握されたのか。

●事務局

健康づくり・食育に関するアンケート調査において、「あなたは、ふだん食べ残しやごみを減らす工夫をしていますか。」という質問において、「している」と回答したものを、食品ロスを実践している者とした。

(2) 食育推進に係る令和3年度の実施について（報告・意見交換）

健康長寿企画課より取組を報告。（資料5）

庁内関係課及び関係団体からの報告は以下のとおり。

【庁内関係課からの報告】（資料6）

○産業企画室

食を通じた地域経済の活性化と京都産食材の生産・流通・販売・消費拡大などを図るため、産地、流通、飲食店等をつなぐ様々な取組を「食の京都」推進事業として、京都府と連携して実施している。

具体的には、HP「食の京都」での情報発信、市内180店舗の飲食店での京都レストランスペシャルの開催、府内の農産物の消費拡大に向けた取組等を行った。

○医療衛生企画課

令和3年6月に食品衛生法が改正され、食品等事業者にはHACCPに沿った衛生管理が義務付けられたことから、市内の飲食店等の事業者（3万件）に対し令和7年度末までに確認及び指導を行うこととしている。また、対面式の衛生講習会はコロナのために受講者人数が制限されたり、中止となっていることから、その代替として、SNS等での情報発信に注力している。

○地球温暖化対策室

京エコロジーセンターにおける取組として、オンラインでの「子どもクッキング教室～自分でつくるカンタンごはん～」の実施や、エコロジーセンターの屋上で育てた野菜を使った調理実習等を行った。オンラインを活用した教室には、対面では参加できなかった方々も参加していただけた。

市内小学校4年生対象にした「こどもエコライフチャレンジ推進事業」では、これまで出前による授業を行ってきたが、コロナ禍の制約により、担任の先生が出前講師の代わりに授業を行っている。自ら授業を行うことで担任の先生方の意識も高まったように感じた。

○中央卸売市場第一市場

参加者の自宅とあじわい館、産地をオンラインでつなぎ、生産者の想いや食材の特徴などを楽しく学ぶことができる教室は大変好評であった。

京都市と包括連携協定を結んでいる大学生の自宅とあじわい館をオンラインで結び、短時間で簡単に作れる家庭料理を学ぶ教室等も開催した。

4年度もこうした取組を継続しつつ、リアルとオンラインを融合させた取組を行っていきたい。

○教育委員会

小学校給食において、出汁、地元食材等を使った給食を提供している。

和食推進の日を設けて、和食の良さを給食を通じて子どもたちに伝えている。

デジタル教材として、給食室の様子等の動画を作成する等工夫している。

【関係団体からの報告】（資料7）

○京都市地域女性連合会

市民スクール21で多くの学区で料理教室を開催。家族の健康を考える勉強会を実施。例えば、α化米を使った災害食の研修等行っている。

○京都市老人福祉施設協議会

コロナの影響により、未実施のものがあつたが、住み慣れた地域で自立した生活を送るためのヒントを伝える取組として、YouTube 動画配信を行った。

○京都府歯科医師会

11月のいい歯の日週間の記念行事として、府民に対してオーラルフレイルの講演会を行った。

当会の学校歯科担当では、養護教諭等に対し口腔や食育に関するミニレクチャー等を行うことがある。今後、歯科の観点からも食育を進めるための講演等を行い、食育推進に関わっていきたい。

また、医療的ケア児については、個々の歯や口の形態や機能の状況に応じて、そのお子さんが対応できる食形態なども変わってくる。医療的ケア児への食支援の一環として、歯や口の状況に応じた支援を考えていきたい。

各取組に対する意見は以下のとおり。

【意見】

○市民公募委員

コロナにより、WEBでの取組が増えたことにより、これまで参加できなかった人も、参加できたのではないと思う。今後はWEBによる取組を共有した上で、さらにWEBを活用した取組のノウハウを共有すれば、さらに効果的に食育を広げることができるのではないかと感じた。

○市民公募委員

以下3つお願いしたい。一つ目は、コロナにより食の環境は大きく変化したと思う。その状況から出た課題に対し、全庁及び団体で連携して対応いただきたい。二つ目は、レシピについて。出汁は、簡単な方法を紹介してほしい。シンプルで手間のかからないものを紹介してほしい。三つ目は、デジタル化について。ホームページに掲載されても、なかなか見たいページに行きつかない。市民しんぶんに大まかな内容を掲載して、より詳しい内容を京・食ねっと等のホームページに掲載することを検討いただきたい。

○食育指導員

コロナにより、活動ができていない状況。今後は、オンライン等を活用し、色々伝えていけるのではないかと考えている。

(3) その他（情報提供）

- ・第4次食育推進基本計画について（資料8）

事務局から資料に基づき説明。

- ・京都市食の安全安心推進審議会の市民公募委員募集について

医療衛生企画課より説明。

- ・健康長寿のまち・京都推進プロジェクトについて（資料9）

事務局から資料に基づき説明。

4 開会あいさつ

京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室 保健担当部長 安藤 えつ子